



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 ゼビオホールディングス株式会社
コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役
問合せ先責任者 (役職名) グループ財務担当執行役員
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6870-6008

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	182,146	1.0	4,659	37.5	5,369	32.5	3,246	37.8
2023年3月期第3四半期	180,364	8.0	7,459	36.4	7,956	7.9	5,220	13.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,598百万円 (33.3%) 2023年3月期第3四半期 5,395百万円 (16.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第3四半期	73.42	73.03
2023年3月期第3四半期	118.07	117.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期第3四半期	219,203	124,873	56.6	2,808.59
2023年3月期	211,300	122,567	57.7	2,760.04

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 124,169百万円 2023年3月期 122,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2024年3月期		15.00		15.00	30.00
2024年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	245,171	2.5	7,280	12.6	7,792	15.7	3,445	36.2	77.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	47,911,023 株	2023年3月期	47,911,023 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,700,367 株	2023年3月期	3,700,307 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	44,210,665 株	2023年3月期3Q	44,210,919 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績等はこれらの予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に変更され、経済活動に対する制約が解消されたことで行楽需要の復活に伴う宿泊・飲食関連の需要が大きく改善し、個人消費の持ち直しの動きが見られました。また、経済活動の正常化に伴い雇用・所得環境は改善し、人材採用活動も活発化しました。その一方で、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇や、世界的な金融引き締めによる為替変動や中国経済の先行き懸念などによる景気の下振れリスク、建設資材価格の高騰や非製造業における人手不足の深刻化など、不透明な状況が続いています。

スポーツ用品販売業界におきましては、部活動を始めとする学校活動やスポーツイベントの正常化による需要回復に加えて、アフターコロナへの移行が進む中で、シューズ、バッグなどのライフスタイル商品の需要拡大が進みました。一方で、コロナ禍で市場拡大してきたゴルフやキャンプ需要に一巡の兆しが見られました。また、仕入原価の上昇に伴う生活必需品の価格上昇に対する消費者の生活防衛意識は高まり、消費行動における価格重視の傾向が続いています。

この様な状況の中、当社グループは、市場シェア拡大に向けた新規出店、既存店改装及び接客サービス力の向上を図り、リアル店舗ならではの付加価値提供による客単価の向上と急回復する部活動市場でのカテゴリー毎の需要変化に対応するとともに、コロナ前を超える勢いで伸長するインバウンド需要の獲得などに注力しました。また、中期的な視点での低効率店舗の閉鎖とコロナ禍のサプライチェーン混乱の影響が残る一部商品の処分も継続しながら、商品の鮮度向上に努めています。しかしながら、長期にわたる行動制限の解除に伴う旅行などのコト消費がモノ消費に優先されたことや消費者行動の二極化の進行などから、売上高は前年同期比で微増となりました。一方で、市場シェアの拡大に向けた新規出店や既存店の改装などの設備投資と、人件費や店舗関連費用、EC事業関連コスト、IT開発案件の増加と単価上昇、及び諸費用の増加を受け、販売費及び一般管理費は増加に転じました。

新規出店及び閉店につきましては、当第3四半期連結累計期間では37店舗を出店し27店舗を閉店しました。これらにより、当第3四半期末におけるグループの総店舗数は893店舗となり、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて1,573坪増加し200,311坪となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,821億46百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益46億59百万円（前年同期比37.5%減）、経常利益53億69百万円（前年同期比32.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益32億46百万円（前年同期比37.8%減）となりました。

〔主な商品部門別の営業概況〕

<ウィンタースポーツ部門>

ウィンタースポーツ部門では、暖冬による雪不足を要因に低調に推移しました。以上の結果、ウィンタースポーツ部門の売上高は、前年同期比15.6%の減少となりました。

<ゴルフ部門>

ゴルフ部門では、ビギナー層を中心とした市場拡大が一服し、低調に推移しました。以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、前年同期比2.7%の減少となりました。

<一般競技スポーツ・シューズ部門>

一般競技スポーツ・シューズ部門では、部活動やスポーツイベントの正常化により、一般競技スポーツ需要が回復しました。また、外出や行楽需要の拡大に伴うタウンシューズやランニングシューズが好調に推移し、前年を上回りました。以上の結果、一般競技スポーツ・シューズ部門の売上高は、前年同期比10.4%の増加となりました。

<スポーツアパレル部門>

スポーツアパレル部門では、一般競技スポーツの需要回復を受け、堅調に推移しました。以上の結果、スポーツアパレル部門の売上高は、前年同期比1.6%の増加となりました。

<アウトドア・その他部門>

アウトドア・その他部門では、トレッキングや外出需要が高まったことによる帽子などのアクセサリが堅調に推移しました。一方で、キャンプ市場は一巡の兆しを見せており、低調に推移しました。以上の結果、アウトドア・その他部門の売上高は、前年同期比2.3%の減少となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産状況は、新規出店及び部活動やインバウンド需要獲得に向けた品揃え強化を実施したことで商品が増加しました。一方で、既存店の改装投資及びシステム投資や仕入債務の支出により現金及び預金が減少しました。以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べ79億2百万円増加し2,192億3百万円となりました。

負債は、秋・冬物商品仕入に対する仕入債務が増加しました。一方で、長期借入金を返済しました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ55億96百万円増加し943億29百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ23億6百万円増加し1,248億73百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月10日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,890	24,133
受取手形及び売掛金	23,414	26,778
営業貸付金	878	822
商品	80,714	88,906
未収還付法人税等	157	447
その他	8,188	9,839
貸倒引当金	△438	△428
流動資産合計	145,805	150,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,445	53,394
減価償却累計額	△38,560	△38,467
建物及び構築物 (純額)	13,885	14,927
土地	13,984	14,066
リース資産	6,091	6,072
減価償却累計額	△1,853	△2,193
リース資産 (純額)	4,238	3,879
建設仮勘定	291	66
その他	22,463	24,310
減価償却累計額	△19,477	△20,143
その他 (純額)	2,985	4,167
有形固定資産合計	35,385	37,107
無形固定資産		
のれん	330	50
ソフトウェア	3,831	5,367
その他	2,622	2,606
無形固定資産合計	6,784	8,023
投資その他の資産		
投資有価証券	953	1,614
長期貸付金	12	8
繰延税金資産	4,574	4,180
差入保証金	1,465	1,345
敷金	14,013	14,055
投資不動産	3,120	3,120
減価償却累計額	△1,289	△1,301
投資不動産 (純額)	1,831	1,818
退職給付に係る資産	103	143
その他	539	713
貸倒引当金	△168	△307
投資その他の資産合計	23,325	23,571
固定資産合計	65,494	68,702
資産合計	211,300	219,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,429	21,968
電子記録債務	29,032	37,495
短期借入金	800	700
1年内返済予定の長期借入金	1,840	1,859
未払法人税等	1,521	846
賞与引当金	1,299	741
役員賞与引当金	15	11
ポイント引当金	78	65
その他	14,160	15,929
流動負債合計	72,177	79,617
固定負債		
長期借入金	4,772	3,399
リース債務	5,222	4,601
退職給付に係る負債	862	836
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	4,768	4,910
その他	870	904
固定負債合計	16,555	14,712
負債合計	88,732	94,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,119	16,119
利益剰余金	96,499	98,419
自己株式	△6,498	△6,498
株主資本合計	122,056	123,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185	254
為替換算調整勘定	197	254
退職給付に係る調整累計額	△415	△315
その他の包括利益累計額合計	△32	194
新株予約権	341	375
非支配株主持分	202	327
純資産合計	122,567	124,873
負債純資産合計	211,300	219,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	180,364	182,146
売上原価	109,976	111,656
売上総利益	70,387	70,489
販売費及び一般管理費	62,928	65,830
営業利益	7,459	4,659
営業外収益		
受取利息	29	40
受取配当金	11	14
不動産賃貸料	503	570
為替差益	30	218
業務受託料	235	273
助成金収入	93	—
その他	289	352
営業外収益合計	1,194	1,469
営業外費用		
支払利息	54	55
不動産賃貸費用	342	351
業務受託費用	232	260
その他	67	91
営業外費用合計	697	759
経常利益	7,956	5,369
特別利益		
固定資産売却益	6	2
投資有価証券売却益	—	4
受取保険金	173	38
受取和解金	72	—
受取移転補償金	143	45
新株予約権戻入益	102	0
預り保証金解約益	9	—
特別利益合計	506	90
特別損失		
固定資産除却損	110	16
固定資産売却損	0	0
賃貸借契約解約損	21	—
減損損失	2	2
店舗閉鎖損失	—	10
災害による損失	—	22
特別損失合計	135	50
税金等調整前四半期純利益	8,327	5,410
法人税、住民税及び事業税	2,593	1,732
法人税等調整額	370	322
法人税等合計	2,964	2,055
四半期純利益	5,363	3,354
非支配株主に帰属する四半期純利益	143	108
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,220	3,246

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	5,363	3,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	68
為替換算調整勘定	△109	74
退職給付に係る調整額	57	100
その他の包括利益合計	32	243
四半期包括利益	5,395	3,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,252	3,472
非支配株主に係る四半期包括利益	143	125

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。